

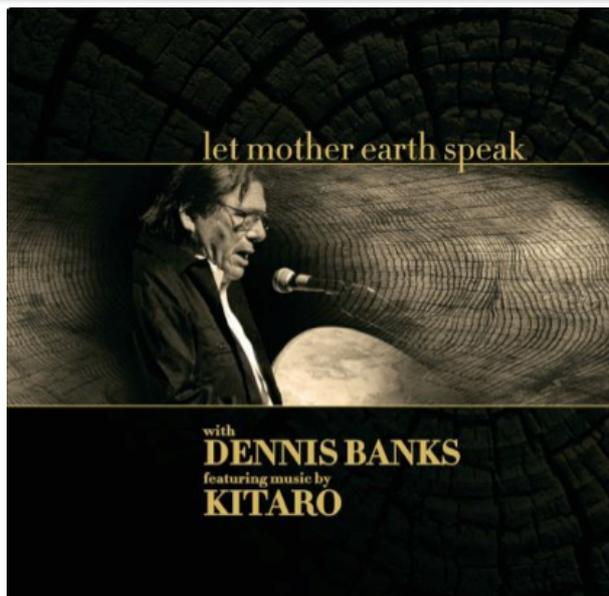
DENNIS BANKS

featuring music by 喜多郎

“LET MOTHER EARTH SPEAK”

Artist: デニス・バンクス featuring music by キタロウ

Title: レット・マザー・アース・スピーク



■ 収録曲 ■

1. Thank You Great Spirit
2. Song Of Responsibilities
3. The Missionary Song
4. A Good Day To Die
5. Don't Cry
6. End Of The Day
7. She Don't Love Me Anymore
8. Longest Walk 2
9. Peace

RELEASE: 2012.8.29

¥ 3,200 (tax in) / ¥ 3,048 (tax out)

No. :YZDI-10053

JAN :4560255252099

喜多郎待望の新作は伝説の“デニス・バンクス”との共演!! 今伝えたいメッセージと音楽が新たな歴史を刻む!!

アメリカン・インディアン・ムーブメント(AIM)のリーダー、デニス・バンクスと喜多郎とのコラボレーション!!
それは、平和への願いを繋ぐ物語。

この素晴らしいコラボレーションは、トラディショナルなネイティブ・アメリカンのインディアンの歌を歌うとともに、
ネイティブ・アメリカンのドラムもレコーディングされています。

< 喜多郎 >

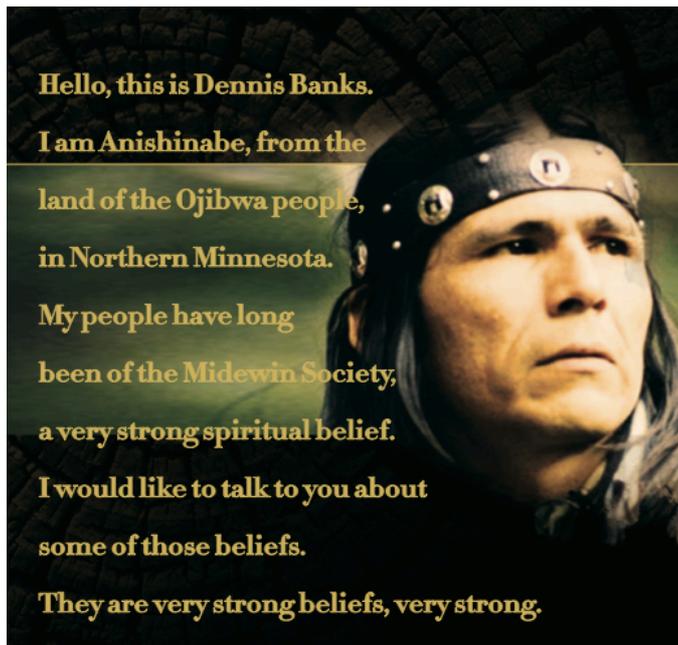
喜多郎のアメリカ・デビューは「天空 (Tenku)」(1986)。「ザ・ライト・オブ・ザ・スピリット (The Light Of The Spirit)」(1987)ではグレイトフル・デッドのドラマー、ミッキー・ハートと共作し、初のグラミー賞ノミネート、アメリカ国内だけで2百万枚以上のセールスを記録と同時に初の全米ツアーを実施。「ドリーム (Dream)」(1992)ではイエスのジョン・アンダーソンと共作、これも大ヒットを記録、傑作と評された。翌年、オリバー・ストーン監督の映画「天と地 (Heaven & Earth)」の音楽を担当しゴールデン・グローブ賞ベスト・オリジナル・スコア部門を受賞。グラミー賞にノミネートされた「マンダラ (Mandala)」(1994)をはじめとして、ライブ録音「天空への響き Live in USA (An Enchanted Evening)」(1995)、深い精神世界を映し出した「ガイア・オンバシラ (Gaia Onbashira)」(1998)、ドキュメンタリー番組「四大文明」のサウンドトラックでグラミー賞にもノミネートされた「エンシェント (Ancient)」(2001)とその続編ともいうべき「永遠の時を (Ancient Journey)」(2002)。さらにグラミー賞ニューエイジ・アルバム部門を受賞した「Thinking of You」(2000)など、喜多郎は精力的に作品をリリースし続けている。2003年リリース「空海の旅 (Sacred Journey of Ku-kai)」は平和をテーマとしたコンセプト・シリーズの幕開けであり、この作品から喜多郎の平和への祈りは新たなる極みへの第一歩を踏み出した。また、このシリーズは空海(弘法大師)が千年以上の昔にはじめたとされる「四国遍路八十八ヶ所」をテーマとしており、アルバム収録の各曲には喜多郎自身が録音したひとつひとつの寺院の鐘の音が織り込まれている。そして「空海の旅4(Sacred Journey of Ku-Kai4)」は、第53回グラミー賞にノミネートされており、喜多郎は日本人として快挙となる14度目のノミネーションをとげた。

発売元: DIAA株式会社 www.diaa.net

DENNIS BANKS

featuring music by 喜多郎

“LET MOTHER EARTH SPEAK”



<デニス・バンクスのプロフィール>

- 1936年に、ミネソタ州北部のオジブエ族リーチレイク居留地で生まれる。
- 1968年に、AIM（アメリカインディアン運動）をクライド・ベルコートらと結成し、米国先住民の権利回復運動の先駆けとなる。
- 1969年アルカトラス島や1973年ウンデッドニー占拠等で、“レッドパワー”のリーダーとして、マーロン・ブランド等の映画スターの応援を受け、ラコタ・スー族のラッセル・ミーンズとともに世界的に有名になる。
- 1978年に、サンフランシスコからワシントンDCまでの大陸横断平和行進“ダ・ロングスト・ウォーク”を成功させ、米国先住民の宗教的自由等を獲得、同年より“セイクリッド・ラン”で環境保護のメッセージを世界中に今日まで伝える。
- 1999年に、リーチレイクでカヌーレースやセレモニーを通しての教育機関として、米国NPO法人ナワカミグ・インスティテュート(NCI)を設立。
- 2005年より毎年、環境保護と文化交流の“マザー・アース・ツアー”をNCIの名誉創立者の山本正旺氏と実行している。
- 2008年に、オバマ支持のもとに“ロングストウォーク2”と2011年に、糖尿病撤廃を訴え“ロングストウォーク3”も決行した。
- 2004年には、米国で自伝“オジブエ・ウォーリア”を発表し、2010年に、自伝「死ぬには良い日だ」として三五館で日本でも出版され、日本での出版は3冊目となった。

ドキュメンタリー映画では、2010年に『死ぬには良い日だ』、2012年に『ナワカミグ/インディアンドラムは鳴り止まず』を完成し多くの映画賞を受賞した。

なお、喜多郎のプロデュースによるCDアルバム“Let Mother Earth Speak”が近日中に発売予定で、デニスの5枚目のアルバムとなる。

デニス、リーチレイク居留地の名産、メープルシロップやワイルドドライス等の自然食の普及にも力を注ぎ、アメリカインディアン・フードの事業も始め、日本にも輸出している。

現在、ミネソタ州北部のリーチレイク居留地に在住。毎年秋に訪日している。

発売元：DIAA株式会社 www.diaa.net